

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【本太小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	次年度に向けて (3月)
思考・判断・表現	年度末評価 (2月)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> R6年度市学習状況調査の結果から全体的に学力は高い傾向が見られるが、個人差が大きい。 <指導上の課題> 個々の学習状況を把握し、個に応じた指導方法について工夫・改善していく余地がある。	⇒ 導入の工夫や個別最適な学習を軸とし、知的好奇心を高めるような授業づくりを推進する。【学期末・学期に1回計3回：共有・見直し・改善】 スクールダッシュボードを活用しデータを蓄積したり、意図的・計画的な設問等による振り返りの時間を確保したりする。また、ルーブリック評価を活用するなど児童の学習状況を把握し、指導に生かす。【通年・振り返りは学年の実態に応じて設定。単元末には必ず実施】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 国語、算数において、相手の意図を汲み取って聞くことや書くこと、場面設定から状況を想像して問題解決する力に課題が見られる。 <指導上の課題> 教科横断的に「話す」ことだけでなく、「聞く」ことに重点を置いた指導の充実。	⇒ 話合いの視点を明確にしたり、相手意識をもたせたりする。その際、「聞く」ことに価値を見出せるように働きかける。また、場面を図に整理したり活用したりして、根拠をもって視覚的に説明できるように指導していく。協働的な活動において、教師がどのように関わることが効果的なのか検証していく。【通年・学期に1回計3回：共有・見直し・改善】

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等	児童生徒の 学力の向上
思考・判断・表現		結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	調査の振り返り(4月) ①児童生徒による振り返り ②調査問題の解説 ③振り返りの終了報告
思考・判断・表現	結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)